
「当院における人工股関節全置換術後の合併症の発生状況と特徴について」に関する お知らせ

このたび、当院で人工股関節全置換術を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年4月1日から2025年8月31日の期間に埼玉医大総合医療センター整形外科を受診し、人工股関節全置換術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

人工股関節全置換術は日本全国の病院にて行われている手術であり、当院でも年間100例程度の患者さんに対して人工股関節全置換術を施行しています。その人工股関節全置換術の術後に発生する合併症に、深部静脈血栓症や肺塞栓症、神経麻痺や脱臼、術後創部感染などがあるといわれております。これらの術後合併症の発生割合および発生状況や特徴を把握し、予防可能な合併症は理学療法士や多職種で連携を図り、予防していくことを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年11月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

カルテ番号、患者情報、手術所見、検査データ、合併症の有無、理学療法評価、病棟での生活状況などの診療記録等の情報を使用します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である飯村 晴香が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

人工股関節全置換術を施行した患者さんの診療記録等を電子カルテから取得します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 飯村 晴香（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはございません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 飯村 晴香

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3529（土日祝日を除く 8:30～17:30）

○研究課題名：当院における人工股関節全置換術後の合併症の発生状況と特徴について

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 飯村 晴香